



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

**22日**

北朝鮮が週末にミサイルを発射したことを受けて早朝取引でドル円は一時110.847円まで下げたが、その後は日経平均株価や米長期金利の上昇につれて111.609円まで反発。その後はドル安の流れから再び弱含んだが、下値は限られるなど方向感が出なかった。

**23日**

「トランプ米大統領は情報当局者2人にロシアとの共謀否定するよう求めた」との報道が嫌気されたほか、英マンチェスターのコンサート会場での自爆テロを受けてドル円は110.863円まで売りが先行。ただ、米長期金利の上昇をきっかけに111.859円まで買い戻された。

**24日**

朝方からドル円は買いが先行し、その後も米長期金利の上昇を支えに底堅く推移し112.127円まで値を上げた。ただ、米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨で「追加利上げの前に最近の弱含みの経済指標が一過性であるというさらなる証拠を待つのが賢明」などの見解が示されると、米金利低下とともに111.481円まで失速した。

**25日**

ドル円はクロス円やダウ平均の上昇を支えに底堅い動きが続き、一時111.951円まで値を上げた。

**26日**

ポンド円を中心にクロス円の下落につれてドル円は売りが先行。欧州時間も米長期金利の低下などを受けて売りが継続し、110.878円まで下げ足を速めた。もっとも、1-3月期米国内総生産(GDP)改定値が強い結果だったことが伝わると111.40円台まで買い戻しが入る場面があった。

**総括**

先週のドル円は神経質な展開となった。北朝鮮が21日に弾道ミサイルを発射したことを受けて、週明け22日の早朝に110.847円まで売られたが、その後は日経平均株価や米長期金利の上昇を背景に下げ渋る動き。翌23日のアジア時間には英マンチェスターで自爆テロが発生したことによるリスク回避の動きから110.863円まで下落する場面も見られたが、22日安値の110.847円がサポートとして意識されると徐々に下値も堅くなった。海外時間には米長期金利の上昇を手掛かりにした買い戻しが強まり、一時111.859円まで上昇。24日もアジア時間から底堅い動きが続き、一時112.127円と17日以来の高値を更新した。もっとも、2-3日分の米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨で「追加利上げの前に最近の弱含みの経済指標が一過性であるというさらなる証拠を待つのが賢明」「数人のメンバーはインフレ目標進展の遅れを懸念」などの見解が示されると、米長期金利の低下に伴って111.481円まで反落した。翌25日には株高を支えに111.951円まで再び買い戻されたものの、週末26日には株安やクロス円の下げにつれて110.878円まで下押す場面も見られるなど、総じて111円台を中心とする神経質な値動きが続いた。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
23日	23:00	火	USD	リッチモンド連銀製造業指数	*	5月	20		15	1
24日	23:00	水	CAD	BOC政策金利	*	*	0.50%		0.50%	0.50%
24日	23:00	水	USD	中古住宅販売件数	年率換算	4月	571万件	570万件	565万件	557万件
24日	27:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*	*
25日	*	木	ZAR	SARB政策金利	*	*	7.00%		7.00%	7.00%
26日	21:30	金	USD	GDP改定値	前期比年率	1-3月期	0.7%		0.9%	1.2%
26日	21:30	金	USD	耐久財受注	前月比	4月	0.7%	2.3%	-1.5%	-0.7%

一言コメント・・・米GDP改定値が予想を上回り、ドルが買い戻される展開となりました。

## 先週の注目された要人発言

22日 19:00 メルケル独首相「ユーロは弱すぎる」  
 22日 21:33 バルキンドOPEC事務局長「25日の総会では減産延長の期間を協議する」  
 24日 0:37 ショイブレ独財務相「ユーロの為替レートはドイツにとって低過ぎる」  
 24日 3:55 米ホワイトハウス「トランプ陣営がロシアと共謀した証拠はなお不在」  
 24日 6:01 ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁「今年3回の利上げがなお適切」「年内のバランスシート縮小開始を見込む」  
 24日 18:35 エルドアン・トルコ大統領「あらゆるところから高金利に対する不満がある」  
 24日 23:03 【BOC声明】「現在の金融政策は現時点では適切と判断」  
 25日 3:02 【FOMC議事要旨】「大半のメンバーは近く引き締めが適切になるとの公算が高いと判断」  
 25日 3:04 【FOMC議事要旨】「追加利上げの前に最近の弱含みの経済指標が一過性であるというさらなる証拠を待つのが賢明」  
 25日 8:54 カプラン米ダラス連銀総裁「今年3回の利上げが自身の基本シナリオ」「中立的金利は2-3%の間」  
 25日 22:21 クガニャゴ南ア中銀総裁「政策委員のうち5人が金利据え置き、1人が利下げを支持」  
 26日 11:01 ブラード米セントルイス連銀総裁「米利上げの道筋は積極的過ぎかもしれない」「米物価の水準が過去のトレンドを下回っていることを懸念」

一言コメント・・・メルケル独首相の発言を受けてユーロが全面高となりました。また、FOMC議事要旨で弱含みの経済指標に対する指摘があり、ドル売りが進みました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
30日	21:30	火	USD	PCEコアデフレーター	前月比	4月	-0.1%		0.1%
30日	23:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	5月	120.3		119.8
31日	22:45	水	USD	シカゴPMI	*	5月	58.3		57.0
1日	21:15	木	USD	ADP雇用統計	前月比	5月	17.7万人		18.0万人
1日	23:00	木	USD	ISM製造業景況指数	*	5月	54.8		54.6
2日	21:30	金	USD	非農業部門雇用者数	前月比	5月	21.1万人		18.5万人
2日	21:30	金	USD	平均時給	前月比	5月	0.3%		0.2%

今週の注目は・・・米雇用統計

# GIweekly今週のマーケットポイント [限定版]は

『ひまわりFX WEB』にログイン後の  
「マイページ」にてご覧いただけます。

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - エマージングウオッチ

情報提供元：グローバルインフォ

グローバルインフォ株式会社より提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、グローバルインフォ（株）は一切の責任を負いません。